

児童質問紙

小学校調査

○ 全国と比較して、5.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	53.2	48.0	5.2

○ 全国と比較して、3.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(8)	自分には、よいところがあると思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	46.8	43.6	3.2
(10)	将来の夢や目標を持っていますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	62.8	58.6	4.2
(14)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	73.9	70.8	3.1
(36-1)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますか	「そう思う」と回答した児童の割合	52.7	49.5	3.2

○ 全国と比較して、3.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(1)	朝食を毎日食べていますか	「している」と回答した児童の割合	79.1	83.1	-4.0
(6)	学校の勉強のことに、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	「ほぼ毎日」「週に1～2回」と回答した児童の割合	71.7	75.0	-3.3
(24)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）	「1時間以上」と回答した児童の割合	8.8	13.4	-4.6
(49)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	30.4	35.2	-4.8
(56)	5年生までにうけた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	「よくある」と回答した児童の割合	23.1	27.5	-4.4
(57)	5年生までに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか	「よくある」と回答した児童の割合	30.4	35.2	-4.8
(59)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	30.4	35.2	-4.8

○ 全国と比較して、5.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	48.4	53.4	-5.0
(20)	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないとはいえますか	「当てはまる」と回答した児童の割合	50.1	55.6	-5.5
(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「1時間以上」と回答した児童の割合	43.9	49.9	-6.0
(25)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「1時間以上」と回答した児童の割合	32.3	39.0	-6.7
(35)	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。	「ほぼ毎日」と回答した児童の割合	33.5	43.0	-9.5
(52)	国語の勉強は得意ですか。	「当てはまる」と回答した児童の割合	15.5	21.6	-6.1
(国2)	解答時間は十分でしたか（国語）	「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した児童の割合	61.4	68.6	-7.2

○ 考察と今後の方向性について

設問番号	考察と今後の方向性
(8) (15) (10) (14)	「自己存在感・自己肯定感の高さ」 「学校に行くのが楽しい（+5.2pt）」、「自分にはよいところがある（+3.2pt）」、「人の役に立ちたい（+3.1pt）」、「将来の夢や目標がある（+4.2pt）」など、肯定的な回答割合が軒並み全国を上回っています。学校生活に魅力を感じ、前向きな姿勢で日々を過ごしている様子がうかがえます。また、「ふるさとキャリア教育」において体験的な活動ができたことも成果としてあげられます。
(36-1)	「ICT活用への自信」 「ICT機器で文章を作成できる（+3.2pt）」と答えた割合が高く、技術操作面における自信を持っています。引き続き、ICT機器を活用しながら文章を作成する場面を増やし、思考力や表現力を高めていきたいと考えています。
(1) (6) (23) (24)	「生活・学習習慣の定着不足」 「朝食の毎日摂取（-4.0pt）」や「家庭での学校の勉強についての会話（-3.3pt）」が低く、基本的な生活基盤や家庭でのサポート体制の弱さが目立ちます。これに伴い、「平日の学習時間1時間以上（-6.0pt）」、「休日の学習時間1時間以上（-6.7pt）」ともに低い割合で、自主的な学習習慣が確立できていません。朝食摂取や家庭での勉強に関する対話の重要性について保護者へ周知し、生活リズムと家庭学習の定着を図る啓発活動を一体となって展開していく必要があります。
(24) (35)	「授業や日常におけるICT活用度の向上」 5年生までに「ICT機器をほぼ毎日使用（-9.5pt）」や「普段の勉強でICTを1時間以上使用（-4.6pt）」と、活用の頻度が低いです。操作に対する意識は高くても、学びのツールとしての常用化が進んでいません。操作への意欲を活かし、毎日の授業におけるICTの活用場面（意見共有やまとめなど）を増やすとともに、家庭学習でも効果的なデジタルツールの活用方法を定着させます。
(9) (20) (56) (57) (59)	「教員のフィードバックと安心感の必要性」 「先生がよいところを認めてくれている（-5.0pt）」、「人と違う意見を言っても否定されない（-5.5pt）」のほか、国語の授業で「良いところや進歩を伝えてくれた（-4.4pt）」、「うまくできていないところや改善法を伝えてくれた（-4.8pt）」、「学級会で互いの意見のよさを生かして解決している（-4.8pt）」などが下回っています。多様な意見を尊重し合える学級経営を推進するとともに、教員から児童一人一人への具体的かつ肯定的・建設的な評価（どこが良くできていて、どう改善できるか）を授業内で日常的に行い、授業改善を進めます。

※ 設問については一部掲載しています。